令和８年度熊本大学キャンパスミュージアム推進事業

漱石来熊130年記念講演会

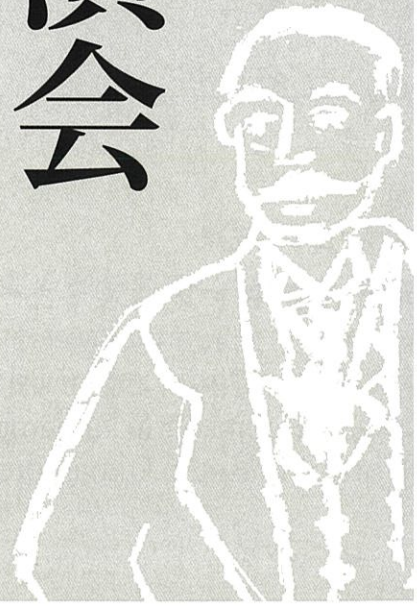
令和8(2026)年は夏目漱石が熊本を訪れて１３０年、没後１１０年の節目の年です。漱石先生は、1896年～1900年に第五高等学校(当時)の英語教師として教鞭を取っていました。漱石研究の若手准教授の講演と朗読、そして漱石の孫である夏目房之介氏のマンガ研究・文化の話や孫から見た漱石先生の話をぜひお楽しみください。

［講師］
夏目房之介氏（マンガ批評家、マンガ家、マンガコラムニスト）
「著書『孫が読む漱石』アフタートーク」

［講師］松岡浩史（熊本大学大学院人文社会科学研究部准教授）
「漱石が見たリチャード三世―シェイクスピアから『倫敦塔』へ」



祖父に頭を撫でられる孫の図（2019年撮影・夏目房之介氏提供）



令和8年 **11月22日（日）**
13:30~16:00（13時開場）

参加無料
定員200名
（要申し込み）

↓予約フォーム

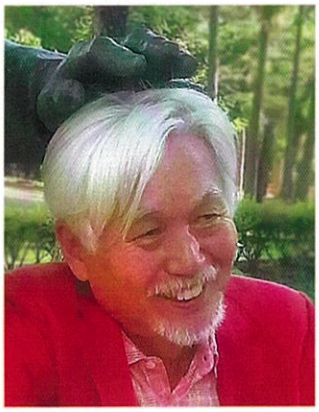
熊本大学工学部百周年記念館
（黒髪南地区キャンパス 熊本市中央区黒髪2-39-1）

主催：熊本大学キャンパスミュージアム推進機構（TEL 096-342-2864　E-mail museum@jimu.kumamoto-u.ac.jp）
協力：漱石文化みらい会議くまもと実行委員会
後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社、
NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、ICOMマーケティング

熊本大学 Kumamoto University

漱石来熊130年記念講演会

Campus Museum



［講師］
夏目房之介氏

１９５０年東京生まれ。
マンガ批評家、マンガ家、マンガコラムニスト。
出版社勤務を経て1970年代後半からフリーライター、イラストレーターとして活動開始。
1992年の「手塚治虫はどこにいる」で本格的に批評活動へ参入し、
1999年にはマンガ批評への多大な貢献により、「手塚治虫文化賞特別賞」受賞。
マンガを学問・文化として読み解く愉しみを広く浸透させた。
元学習院大学院人文学研究科教授。(2008～2021)
夏目漱石の孫としての著作に「孫が読む漱石」「漱石の孫」などがある。



スケジュール

- 13:00　開場
- 13:30　開会　学長あいさつ
- 13:35　松岡浩史准教授　講演
  「漱石が見たリチャード三世―シェイクスピアから『倫敦塔』へ」
- 14:10　朗読「倫敦塔」(文学部　村上健将さん)
- 休憩　ロビー展示　漱石マンガ関係
- 14:45　**夏目房之介氏　講演「孫が読む漱石・アフタートーク」**
- 16:00　閉会

■会場マップ■　黒髪南地区
熊本大学工学部百周年記念館
（熊本市中央区黒髪2-39-1）



■問い合わせ先■
熊本大学キャンパスミュージアム推進機構
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番１号
TEL 096-342-2864 (地域中核事業課　TEL 096-342-2047)
E-mail museum@jimu.kumamoto-u.ac.jp
HP http://museum.kumamoto-u.ac.jp

公共交通機関をご利用ください。